

## □ 平成20年 秋季駐車場研修会参加レポート

10月7日～13日

### バンクーバー・ビクトリア編 / 10月7日～9日

(株)三菱地所プロパティマネジメント  
大阪営業所 副部長 服部謙一

社団法人全日本駐車協会が主催する平成20年度秋季駐車場研修会は、2年後の2010年に冬季オリンピックを控えるカナダのバンクーバーと、ブリティッシュ・コロンビア州の州都であるビクトリア、またイチロー選手の活躍で日本人の誰もが知るようになった、アメリカ・シアトルの3都市を訪問し10月7日から13日の7日間に亘り開催されました。出席者についても各地区協会から37名という多数の方が参加し大変盛り上がった研修会となりました。

### ■ 研修会初日（10月7日）

成田空港を18:05に出発し、カナダ・バンクーバー空港までのフライト時間は約8時間30分。到着時間は日本ならば夜中の2:30となるわけですが、現地時間は日本を出発した日と同日の午前11:00前。眠い目をこすりながらの市内観光となりました。

当日の天気予報は現地女性ガイドの中丸さんによると雨。しかしながら参加者皆様の日頃の行いが良いせいか見事な晴天。日本と比べ少し肌寒いものの予想していたほど寒くなく市内観光には最適な気候でありました。(中丸さんの話では現地の天気予報は95%外れるとのこと。それならば常に予報と逆の準備をした方が良いということか...)

最初の訪問場所は、ダウンタウンから車で15分程離れた所にあるクイーン・エリザベス・パーク。季節がだいぶ涼しくなってきたというものの、様々な種類の花々が咲き誇り、

また、この公園からは市内が一望することができ非常に気持ちが良い公園でした。



クイーン・エリザベス・パーク

次に訪れたのはスタンレー・パーク。半島の先端に位置し敷地面積が405ヘクタール(日比谷公園の約25倍)という広大な公園で、園内には水族館やレストラン、サイクリングロードや遊歩道もあり市民の憩いの場として利用されているとのことでした。

また観光スポットとして7つのトーテムポールが立ち並んでいましたが、これはこの公園の一角が元々先住民の居留地だったことから、その7つの部族のトーテムポールが立てられており、それにはシャチや熊・カエルな

ど各部族を象徴する動物や人が彫られており興味深いものとなっていました。



スタンレー・パークから望むバンクーバー市街

この日は、時差ボケや長時間フライトの疲れを癒す意味もあり、夕方にはカナダプレイスのハーバーフロントに位置するパン・パシフィックホテルにチェックイン。ホテルから見える湾内には通勤として利用されている水上飛行機がひっきりなしに離着陸を繰り返しており日本との習慣の違いに大変驚かせられました。

夕食はホテル近くのレストランで移動の疲れを忘れるほどたっぷり頂き、翌日の駐車場視察に備え英気を養いました。

---

## ■ 10月8日（水）

---

朝早めにホテルを出発し、バンクーバー市内の2ヶ所の駐車場視察を行いました。

いずれの駐車場も北米エリアで約600ヶ所の駐車場運営管理を行っているIMPARK（インパーク）の駐車場で、当日は同社副社長のタグ・ヒューム氏及びスティーブン氏に案内して頂きました。

最初に訪れた駐車場は、ガスタウン近くにある「コルドバパーキング」。収容台数603台の自走式駐車場。築40年経過しており所々に歴史を感じさせる（?!）ところがあったものの、3年半前から約500万ドルを投資し、

構造的な改修工事・照明器具の取替え・壁面塗装・看板及び案内サインの更新等を行い利用者から好評を得ているとのことでした。



コルドバパーキング

またこの駐車場の立地は、あまり治安が良くないエリアとのことでITVカメラ17台を設置し、隣接するビルに管理要員を24時間体制で1名常駐させ監視させているとの説明がありました。（これにより盗難事故が激減したとのことでした）

また月極の契約車両と時間貸し車両の入口を分ける工夫を行い、入口部分で契約者の方が待たないようにするといったCS向上に努めることや、小型車の料金を普通車より5%割引するといった細かなサービスも行っていました。

駐車料金は、場所指定の月極料金が250ドル（約25,000円）、場所を特定しない（空いている場所にどこでも駐車して良い）月極料金が160ドル（約16,000円）。

時間貸し料金は、昼間は1時間4ドル（約400円）、夜間は1時間2.75ドル（約275円）。また1日（昼間）駐車する場合は10ドル（約1,000円）とのことで、日本の都心部の駐車料金と比較し若干ですが安い水準であると感じました。

しかしながら、バンクーバーでは2年後のオリンピック開催を控え土地の価格が急激に

高騰し、駐車場の料金も同様に上がっているとのことで、市内の一番高い駐車場の場所指定の月極料金は500ドル（約50,000円）、場所を特定しない月極料金が270ドル（約27,000円）と2～3年前に比べ2倍近く跳ね上がっているとの説明もありました。

次に訪問したのは、日本にも幕張や川崎、尼崎といった場所に会員制の倉庫型卸売店（ホールセール）を展開するCOSTCO（コストコ、但しカナダではTを発音しないため、コスコと呼びます）の地下駐車場。ダウンタウンから約10分の距離にあり、オリンピック会場となるBCプレイス・スタジアムとGMプレイス（地元アイスホッケーチーム・カナックスのホームスタジアム）に隣接する場所にあります。収容台数約700台の大型駐車場ですが、PAY STATIONという機械で全ての利用者の精算を行う為、人件費を削減し（但し利用者が適正に行っているかの見回りの為の人員は必要）、その削減できた費用でセキュリティ強化を行っているとのことでした。



COSTCOの地下駐車場

この駐車場でおもしろかったのは、利用料金の精算システムの方法です。事前に利用時間を想定し（ex. 2時間利用する予定であれば、その時間分のパーキングチケットを購入する）その予定時間内に買い物等を済ませて帰りはそのまま出庫するといったシステムで

す。説明によれば、利用者の方は殆ど予定通り時間内に在庫されているとのことでしたが、日本的な考えであれば、買い物に夢中になっている内に予定時間がオーバーしているというケースが多くあると思のですが...

市内で昼食を取り、その後、午後3時にバンクーバーをフェリーで出発し約1時間30分で宿泊地のビクトリアに到着。英国風の街並みと穏やかな気候で、定年退職後の移住地としても人気があり、カナダ西海岸で最も古い街として知られています。宿泊したホテルは、今年100周年を迎えた1908年開業の歴史あるホテル「フェアモント・エンプレス・ホテル」。古城風の外観につたが絡まるビクトリアを代表する最高級ホテルで観光名所にもなっているそうです。ロビーや廊下の内装・調度品は全て重みを感じ何とも言えない雰囲気をかもし出していました。夕食もホテル内のレストランで頂きましたが、豪華な内装・行き届いたサービス・美味しい料理と全てが満足いくもので、その日の夜は優雅な気分で休むことができました。



フェアモント・エンプレス・ホテル

## ■ 10月9日（木）

あと2～3日滞在したいという後ろ髪を引かれる思いを抑え、朝9:00にホテルを出発しビクトリアの高級住宅街をバスの中から眺

めた後、約1時間程でブッチャート・ガーデンに到着。この庭園は、セメント王ブッチャート夫妻が石灰石を採掘した跡地に造ったもので、完成後100年以上経過しておりビクトリア観光最大の見所と言われています。

園内には日本式庭園を含め各国スタイルの庭園が数多くあり、それぞれに色鮮やかで見事な花々が咲いており大変美しいものでした。自宅の小さな庭もこの庭園を見習い、少しでも近づけられればと感じさせられました。

同園内で昼食を済ませた後、アメリカ・シアトルに向けて移動開始。往路同様、フェリーでバンクーバーに戻り、そこから先はバスで長旅（睡眠時間?!）となりました。

バンクーバー（カナダ）からは陸路でシアトル（アメリカ）に入国手続きとなるわけですが、ここでハプニング発生！添乗員の方から入国審査は非常に厳しいと聞いていましたが、その話は現実であり最初に審査に向かった事務局の中村さんがなかなか通過できない状況が発生。3レーンあって他の2レーンについてはスムーズに通過していくのですが…一体どういうことか。このまま拘束されてし

まうのではと、まだ審査を受けていない方たちもざわつき始めた頃、やっと入国OKが出て無事に通過されました。ご本人の名誉の為に補足致しますが、審査に時間がかかったのはあくまで審査する機器の不具合が理由であり、決して個人的な原因ではありません。そのお陰も(?)あり、その後の方々の審査は大変早くなり、事務局である中村さんはその点も考慮されて審査を受けられたのでしよう。

夕方にはシアトルでの滞在ホテル「ザ・ウェスティン・シアトル」に到着。ホテル内のレストランで夕食を頂き、その後は長時間のバス移動の疲れもあり早めに部屋に戻り翌日に備えました。

今回の研修会では各地区会員の皆様と多くの話をする事ができ、私自身にとって大変有意義な研修会でした。また、この研修会が無事に終了したことは、原団長をはじめ事務局・企画委員の皆様、近畿日本ツーリスト添乗員の佐伯さん、現地ガイドの方々皆様のお陰だと思っており大変感謝しております。有難うございました。以上



集合写真（ビクトリア・ブッチャードガーデン）